

## 第 26 期日本学術会議化学委員会高分子化学分科会（第 1 回）議事要旨

日時：令和 6 年 3 月 21 日 14:00～14:55

開催場所：日本学術会議 会議室 6A-(2)と Zoom によるハイブリッド開催

（以下敬称略）

出席委員：（第三部会員）佐々木園、菅裕明、三浦佳子（連携会員）秋吉一成、石原一彦、上垣外正己、岸村顕広、君塚信夫、小林定之、竹岡裕子、田中敬二、藤田照典、丸山厚、宮田隆志、山子茂、矢島知子、吉江尚子

欠席委員：伊藤耕三、片岡一則、栗原和枝

書記：上垣外正己

### 議題

#### 1) 委員紹介、委員長互選、役員承認

出席者による自己紹介があった。

第 26 期役員として、委員長に上垣外正己連携会員、副委員長に宮田隆志連携会員、幹事に岸村顕広連携会員、矢島知子連携会員が選出された。

#### 2) 議事要旨の提出に関する委員長一任について

委員会幹事等による議事要旨の作成後、所属委員への回覧を行った後、微修正等を含め、最終的な承認については委員長に一任することが承認された。

#### 3) 分科会委員間のメールアドレスの共有について

委員会構成員間でメールアドレスを共有することについて出席者全員に承認された。

#### 4) 第 26 期分科会の活動に関する意見交換

第 25 期からの申し送り事項として、他分科会との連携や社会との接点を意識した活動に取り組んでいくことを確認した。

社会への発信として、日本学術会議の「提言」「報告」「記録」に関して意見交換し、今後の方針を議論した。

第 25 期の本分科会と高分子学会が協力して申請した「未来の学術振興構想」（中長期戦略）を参考にして、デジタルトランスフォーメーション、極限マテリアル、クオリティー・オブ・ライフなどをキーワードにして、他の分科会や分野とも連携しながら、シンポジウムやワークショップなどを企画することにより、高分子を利用して活動を新しい分野に広げていく可能性について議論した。